

第1回学校関係者評価委員会議事録

日時：令和 2年 8月31日(月)

13:00～14:30

場所：八戸理容美容専門学校 会議室

出席者：村舘 清美 (学校評議員) 苫米地 三男 (学校評議員)
飯田 勉 (学校評議員) 名久井 勝彦 (企業委員)
佐々木 由香子 (企業委員) 勝田 房子 (PTA会長)
中村 晴美 (PTA副会長)

委任状：梅田 智恵美 (学校評議員)

出席者7名 委任状1名 以上8名で本委員会は成立

事務局：伊藤 有信 (学校運営) 佐々木 哲子 (学校運営)
佐々木 美帆 (学校運営) 笹山 留美子 (学校運営)
長根 美佐子 (担当責任者)

議 事

1. 学校長挨拶

本日は校長が新しくなり、学校法人を見据え経営方針等が変わってきていることなどから、多くの委員からのご意見などを頂きたいと思います。

まず、学校関係者評価・学校自己評価の結果等を評価することによって、

- ① 情報提供と学校の公開により、客観性や透明性を高める。
 - ② 学校・家庭・地域が共通理解を図り、連携協力してよりよい学校運営に改善に活かす。
- これらのことをよりよい学校づくりに活かしたいと思います。

また本日は黒沢理事長もオブザーバーとして同席させていただきます。

2. 委員紹介

委員紹介及び自己紹介

3. 資料配付

- 伊藤校長 ① 教育方針、教育目標、校長通信「矜持」について
長根 ② 教員によるアンケート集計結果分析
学生によるアンケート集計結果分析

4. 連絡

- ① 来年度、保護者によるアンケート実施について
- ② 来年度、職員の人事考課制度の実施について(シートの作成と目標設定、面談)

5.協議事項

① 教育方針・教育目標・5S・「矜持」・2学期制などについて(添付資料 ①)

・教育方針

本学生としての矜持と自覚をもち積極的にして、明朗闊達な校風をつくることに相互に協力すると共に近代社会に貢献し得る理容師美容師としての人格と技術の習得に努める。

・教育目標

礼儀、作法の徹底を図る。清潔、整頓の保持に努める。親切、勇気の精神を養う。

・5S

整理—必要なものと不必要なものを区別して、不必要なものを処分する

整頓—決められたものを決められた場所にきちんと置き、いつでも取り出せるようにする

清掃—身の回りや校舎をきれいに掃除して、いつでも使えるようにする

清潔—整理・整頓・清掃を維持し、きれいで衛生的な状態を保つ

躰 —決められたルールや学則を守り、実行するよう習慣づける

・校長だより「矜持」とは、自信や誇りそして自制心を持ち合わせているさまのことです。この言葉を学校全体に浸透させていきたい。

7月に開催したヘアショーについて、全教職員の持ち味や協働姿勢の素晴らしさも実感できました。課題と対策を明確にし、エキポ八理美の職員として力を合わせ改善していきましょう。

8月は、礼儀、作法の徹底の関連から、挨拶を取り上げます。挨拶の励行は、学校だけではなく家庭や地域社会と連携していく必要があるものですが、理容美容専門学校としては、一人前の理容師、美容師になるために、在学中にすべての学生一人ひとり身につけさせなければならないと思います。

・2学期制について

2学期制は、長期休み明けに前期後期試験があることによって、学生が集中して勉強ができ、試験に臨める。

②.教員によるアンケート集計結果(添付資料②)

昨年度の自己点検評価について、資料を配布しました。施設設備、学校にサロン実習には、各委員から活発なご意見や質問がありました。

・施設設備について

村舘委員長 「学生が使用する箇所は、早急に修繕したほうがよいと思う。」

黒沢理事長 「優先順位をつけながら、順次修繕していこうと思います。」

サロンについて

村館委員長 「自分のお店も、コロナ対策で消毒をしっかりとやって営業しているので、学校のサロンもきちんと対策していけば再開できるのではないかと思います。」

佐々木委員 「学生が就職して理容室美容室に入った時、困らないように学校のサロンで衛生をしっかりと身につけさせてほしいと思う。」

勝田委員 「自分の娘が県外の美容室で働いているが、衛生はしっかりとやっていると聞いていたので、学生が就職したお店でしっかり対策はしてると思います。」

佐々木副校長 「サロンを始めるにあたって、学生や保護者への確認をとり、サロンのお客様にも電話受付の際住所や電話番号など確認し、予約はいつもの半分にしてソーシャルディスタンスを守って、開始するか今検討中です。」

サロンについては、10月から始められるように、先生方とも協議中です。

③学生によるアンケート集計結果(添付資料②)

今回初めて学生アンケートをとり、学生達の考え方や学年差などを知ることができた。

この結果をこれからの活動や、来年度の教育課程編成に活かす。また、改善していかなければならない点もあり、次年度以降もアンケートの実施をしていく。

5.その他

来年度から保護者によるアンケート評価を実施していくにあたって、QRコードを活用し集計の効率化簡便化を図る。

職員の人事管理制度についても来年には実施していく予定である。

名久井委員 「この間の新聞に、25年後青森の人口が半分になるということが載っていた、これから学生の人口も減ると思いますが、学校側は何か対策は考えていますか？」

黒沢理事長 「高校卒業生の人口が減少しているのは、数年前から検討課題となっていましたが、それに向けて、すでに進めている事項もあります。皆様のご指導を賜りながら、学校の大きな課題として進めていきたいと考えています。」